

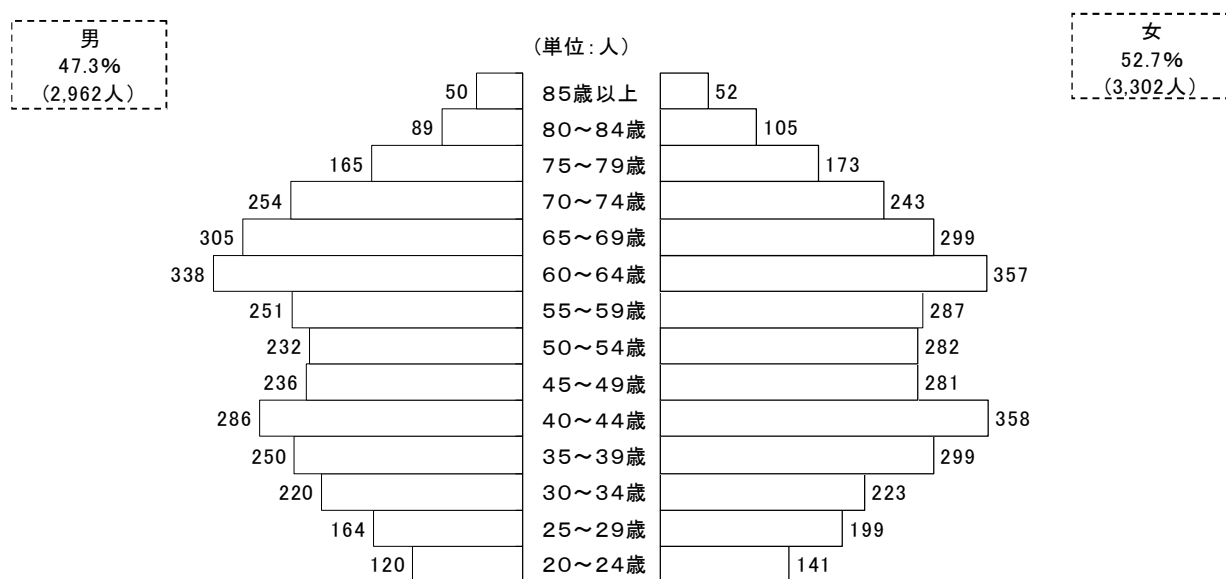
第2部 福祉のまちづくり等に関する実態と意識

本調査の「福祉のまちづくり等に関する実態と意識票」は、調査対象者の福祉のまちづくり、子育て支援、障害者支援、地域福祉等に関する意識について、調査したものである。

集計対象世帯 3,594 世帯の満 20 歳以上の世帯員 7,825 人を調査対象とし、6,264 人から回答を得た。

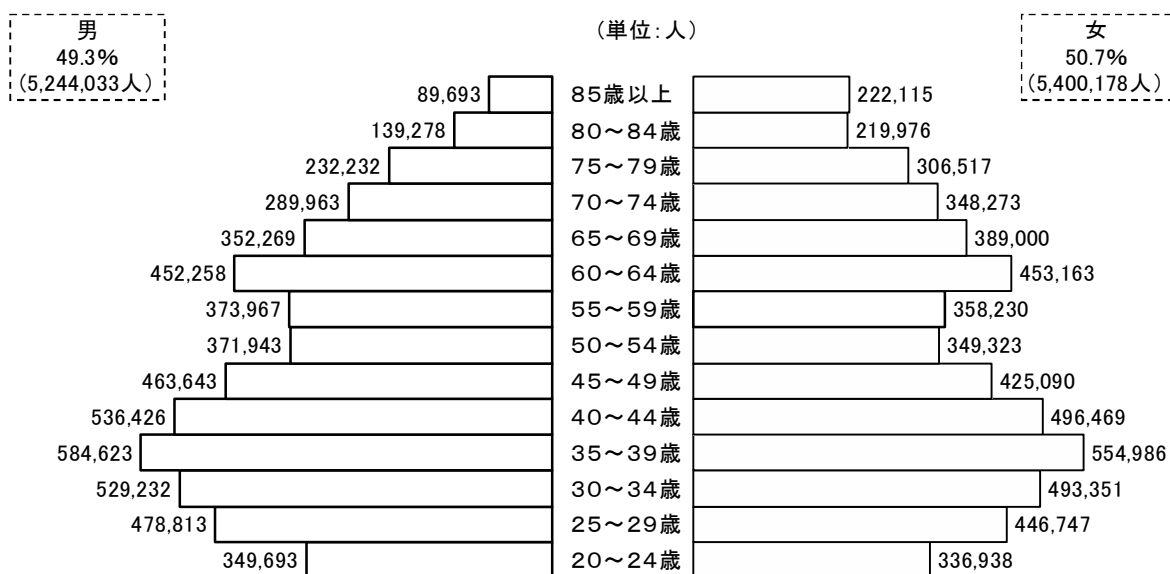
回答者の性・年齢階級の内訳については、次のとおりである。(図Ⅱ-1-1)

図Ⅱ-1-1 回答者の性・年齢階級



(注) 男性 2,962 人、女性 3,302 人には、それぞれ年齢無回答の人を含むため、内訳の総数と一致しない。

《参考》住民基本台帳による東京都の世帯と人口（平成 23 年 1 月 1 日）（総務局）



第1章 日常よく出かけるところに着くまでのバリア

1 外出時の状況等

(1) 外出時の状況等

「外出時に何らかの障害がある」人 4.6%、「乳幼児を連れて外出することがある」人 11.3%

外出時の状況等（7項目）について聞いたところ、(1)～(5)の項目を合わせた「外出時に何らかの障害がある」人の割合が4.6%、「乳幼児を連れて外出することがある」人の割合が11.3%となっている。また、女性で「現在妊娠している」人の割合は0.9%となっている。（表Ⅱ-1-1）

表Ⅱ-1-1 外出時の状況等〔複数回答〕

		総 数	は い	い い え	無 回 答
外出時に何らかの障害 がある（290人、 <u>4.6</u> ％）	(1) 視覚に障害があるため、 外出の際、福祉機器や介助 者が必要である	100.0 (6,264)	1.2 (74)	98.6 (6,178)	0.2 (12)
	(2) 聴覚に障害があるため、 外出の際、福祉機器や介助 者が必要である	100.0 (6,264)	1.5 (93)	98.3 (6,160)	0.2 (11)
	(3) 肢体に障害があるため、 外出の際、福祉機器や介助 者が必要である	100.0 (6,264)	3.1 (192)	96.8 (6,061)	0.2 (11)
	(4) 体の内部に障害があるた め、外出の際、福祉機器や 介助者が必要である	100.0 (6,264)	1.7 (104)	98.1 (6,146)	0.2 (14)
	(5) その他障害があるため、 外出の際、福祉機器や介助 者が必要である	100.0 (6,264)	2.1 (132)	97.5 (6,105)	0.4 (27)
	(6) 乳幼児を連れて外出する ことがある	100.0 (6,264)	<u>11.3</u> (707)	88.2 (5,525)	0.5 (32)
	(7) 現在妊娠している	100.0 (3,302)	<u>0.9</u> (31)	98.3 (3,246)	0.8 (25)

（注）「外出時に何らかの障害がある」の人数は、(1)～(5)の項目のいずれかひとつ以上に「はい」と答えた者の合計である。

「外出時の状況等」と「年齢」から、「外出時グループ」として、以下のとおり3つに区分した。

外出時グループ（3区分）

1 外出時の障害ありグループ

外出時の状況等(1)～(5)いずれかひとつ以上に「はい」と答えた者（290人）

※上記「外出時に何らかの障害がある」と同じ

2 乳幼児連れグループ

外出時の状況等(6)に「はい」と答えた者（707人）

3 高齢者グループ

年齢が65歳以上の者（1,735人）

(2) 外出時の状況等（外出時の障害の有無）一性・年齢階級別

「外出時に何らかの障害がある」人の割合は、男性 80 歳以上 23.7%、女性 80 歳以上 30.6%

外出時の状況等（外出時の障害の有無）を性・年齢階級別にみると、「外出時に何らかの障害がある」人の割合は、男性 80 歳以上は 23.7%、女性 80 歳以上は 30.6%と、女性の方が 6.9 ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-2）

表Ⅱ-1-2 外出時の状況等（外出時の障害の有無）一性・年齢階級別

	総 数	障 外 害 出 が 時 あ に る 何 ら か の	外 出 時 に 障 害 が な い	無 回 答
総数	100.0 (6,264)	4.6	94.7	0.7
男	100.0 (2,962)	4.5	94.8	0.7
20～29歳	100.0 (284)	1.4	97.5	1.1
30～39歳	100.0 (470)	0.9	98.7	0.4
40～49歳	100.0 (522)	0.8	99.0	0.2
50～59歳	100.0 (483)	3.3	95.7	1.0
60～69歳	100.0 (643)	3.6	95.8	0.6
70～79歳	100.0 (419)	11.9	86.9	1.2
80歳以上	100.0 (139)	<u>23.7</u>	75.5	0.7
(再掲)65歳以上	100.0 (863)	10.7	88.3	1.0
女	100.0 (3,302)	4.7	94.6	0.6
20～29歳	100.0 (340)	1.8	98.2	—
30～39歳	100.0 (522)	0.8	99.0	0.2
40～49歳	100.0 (639)	0.5	99.2	0.3
50～59歳	100.0 (569)	1.8	97.5	0.7
60～69歳	100.0 (656)	4.7	94.2	1.1
70～79歳	100.0 (416)	13.0	86.1	1.0
80歳以上	100.0 (157)	<u>30.6</u>	67.5	1.9
(再掲)65歳以上	100.0 (872)	13.3	85.3	1.4

(3) 外出時の状況等（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）〔複数回答〕一性・年齢階級別

「外出時に何らかの障害がある」人のうち、「肢体に障害がある」人の割合は、66.2%

外出時の状況等(1)～(5)の5項目を性・年齢階級別にみると、「外出時に何らかの障害がある人(290人)」では、「肢体に障害があるため、外出の際、福祉器具や介助者が必要である」人の割合が、男女どちらも最も高く、男性60.4%、女性71.2%となっている。(表Ⅱ-1-3)

表Ⅱ-1-3 外出時の状況等（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）〔複数回答〕一性・年齢階級別

	総 数	福(1) 祉視 器具に や障 害が ある ため、 外出 の際、	福(2) 祉聴 器具に や障 害が ある ため、 外出 の際、	福(3) 祉肢 体 器具に や障 害が ある ため、 外出 の際、	際(4) 、体 福の 祉内 部 器具に や障 害が ある ため、 外出 の際、	際(5) 、そ 福の 祉他 器 具の 障 害が ある ため、 外出 の際、
総数	100.0 (290)	25.5	32.1	<u>66.2</u>	35.9	45.5
男	100.0 (134)	29.9	36.6	<u>60.4</u>	37.3	44.0
20～29歳	100.0 (4)	50.0	25.0	75.0	50.0	75.0
30～39歳	100.0 (4)	25.0	25.0	75.0	25.0	75.0
40～49歳	100.0 (4)	25.0	100.0	50.0	50.0	50.0
50～59歳	100.0 (16)	50.0	43.8	62.5	37.5	62.5
60～69歳	100.0 (23)	21.7	30.4	78.3	17.4	34.8
70～79歳	100.0 (50)	26.0	34.0	52.0	38.0	30.0
80歳以上	100.0 (33)	30.3	42.4	57.6	48.5	54.5
(再掲)65歳以上	100.0 (92)	26.1	37.0	56.5	40.2	38.0
女	100.0 (156)	21.8	28.2	<u>71.2</u>	34.6	46.8
20～29歳	100.0 (6)	16.7	50.0	66.7	16.7	33.3
30～39歳	100.0 (4)	—	25.0	25.0	—	50.0
40～49歳	100.0 (3)	33.3	—	33.3	33.3	100.0
50～59歳	100.0 (10)	20.0	40.0	80.0	20.0	50.0
60～69歳	100.0 (31)	16.1	25.8	71.0	35.5	41.9
70～79歳	100.0 (54)	25.9	27.8	63.0	35.2	42.6
80歳以上	100.0 (48)	22.9	27.1	85.4	41.7	52.1
(再掲)65歳以上	100.0 (116)	24.1	26.7	75.0	38.8	45.7

(4) 外出時の障害ありグループ・性・年齢階級別

「外出時に何らかの障害がある」人のうち、65 歳以上が全体の約 7 割

「外出時に何らかの障害がある人（外出時の障害ありグループ、290 人）」を性・年齢階級別にみると、男女とも 70 代の割合が最も高く、男性 37.3%、女性 34.6%となっている。

また、65 歳以上が全体の 71.7%を占め、男性 68.7%、女性 74.4%と、女性の方が 5.7 ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-4）

表Ⅱ-1-4 外出時の障害ありグループ・性・年齢階級別

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	(再掲) 65歳以上
総数	100.0 (290)	3.4 (10)	2.8 (8)	2.4 (7)	9.0 (26)	18.6 (54)	35.9 (104)	27.9 (81)	<u>71.7</u> (208)
男	100.0 (134)	3.0 (4)	3.0 (4)	3.0 (4)	11.9 (16)	17.2 (23)	<u>37.3</u> (50)	24.6 (33)	<u>68.7</u> (92)
女	100.0 (156)	3.8 (6)	2.6 (4)	1.9 (3)	6.4 (10)	19.9 (31)	<u>34.6</u> (54)	30.8 (48)	<u>74.4</u> (116)

(5) 外出時の状況等（外出時の乳幼児連れの有無）一性・年齢階級別

「乳幼児を連れて外出をすることがある」人の割合は、女性 30 代 37.4%

外出時の状況等（外出時の乳幼児連れの有無）を性・年齢階級別をみると、「乳幼児を連れて外出をすることがある」人の割合は、男性 30 代で 28.7%、女性 30 代で 37.4%となっている。

また、20 代、30 代、60 代では、男性より女性の方が「乳幼児を連れて外出をすることがある」人の割合が高くなっている。（表Ⅱ-1-5）

表Ⅱ-1-5 外出時の状況等（外出時の乳幼児連れの有無）一性・年齢階級別

	総 数	外乳 出幼 す児 るを こ連 とれ がて ある	外乳 出幼 す児 るを こ連 とれ がて ない	無 回 答
総数	100.0 (6,264)	11.3	88.2	0.5
男	100.0 (2,962)	10.5	88.8	0.7
20～29歳	100.0 (284)	<u>12.7</u>	86.3	1.1
30～39歳	100.0 (470)	<u>28.7</u>	70.6	0.6
40～49歳	100.0 (522)	14.9	84.7	0.4
50～59歳	100.0 (483)	3.7	96.1	0.2
60～69歳	100.0 (643)	<u>4.8</u>	94.7	0.5
70～79歳	100.0 (419)	2.4	96.7	1.0
80歳以上	100.0 (139)	2.9	94.2	2.9
(再掲)65歳以上	100.0 (863)	3.8	95.0	1.2
女	100.0 (3,302)	12.0	87.7	0.4
20～29歳	100.0 (340)	<u>17.4</u>	82.6	—
30～39歳	100.0 (522)	<u>37.4</u>	62.6	—
40～49歳	100.0 (639)	10.6	89.2	0.2
50～59歳	100.0 (569)	3.7	96.0	0.4
60～69歳	100.0 (656)	<u>6.9</u>	92.7	0.5
70～79歳	100.0 (416)	1.2	97.8	1.0
80歳以上	100.0 (157)	0.6	98.1	1.3
(再掲)65歳以上	100.0 (872)	3.4	95.8	0.8

(6) 乳幼児連れグループ・性・年齢階級別

「乳幼児を連れて外出することがある」人のうち、男女とも、20～40代が約8割

「乳幼児を連れて外出することがある」人（乳幼児連れグループ、707人）を性・年齢階級別にみると、男女とも30代の割合が最も高くなっている（男性43.3%、女性49.4%）

また、20代、30代、40代を合わせると、男性79.8%、女性81.5%と、男女とも約8割となっている。（表Ⅱ-1-6）

表Ⅱ-1-6 乳幼児連れグループ・性・年齢階級別

	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	(再掲) 65歳以上
総数	100.0 (707)	13.4 (95)	46.7 (330)	20.7 (146)	5.5 (39)	10.7 (76)	2.1 (15)	0.7 (5)	8.9 (63)
男	100.0 (312)	11.5 (36)	<u>43.3</u> (135)	25.0 (78)	5.8 (18)	9.9 (31)	3.2 (10)	1.3 (4)	10.6 (33)
			<u>79.8</u>						
女	100.0 (395)	14.9 (59)	<u>49.4</u> (195)	17.2 (68)	5.3 (21)	11.4 (45)	1.3 (5)	0.3 (1)	7.6 (30)
			<u>81.5</u>						

(注) 年齢無回答の人を含むため、総数と内訳の合計は一致しない。

(7) 外出時の状況等（妊娠の有無）一年齢階級別

「妊娠している」人の割合は、20代女性2.6%、30代女性3.4%

外出時の状況等（妊娠の有無）を年齢階級別にみると、「妊娠している」人の割合は、20代で2.6%、30代で3.4%となっている。（表Ⅱ-1-7）

表Ⅱ-1-7 妊娠の有無一年齢階級別

	総 数	妊 娠 し て い る	妊 娠 し て い な い	無 回 答
総数	100.0 (3,302)	0.9	98.3	0.8
20～29歳	100.0 (340)	<u>2.6</u>	96.8	0.6
30～39歳	100.0 (522)	<u>3.4</u>	96.2	0.4
40～49歳	100.0 (639)	0.6	99.4	-
50～59歳	100.0 (569)	-	98.9	1.1
60～69歳	100.0 (656)	-	99.2	0.8
70～79歳	100.0 (416)	-	98.8	1.2
80歳以上	100.0 (157)	-	96.8	3.2
(再掲)65歳以上	100.0 (872)	-	98.5	1.5

(注) 本問は、女性（3,302人）のみに回答を求めている。

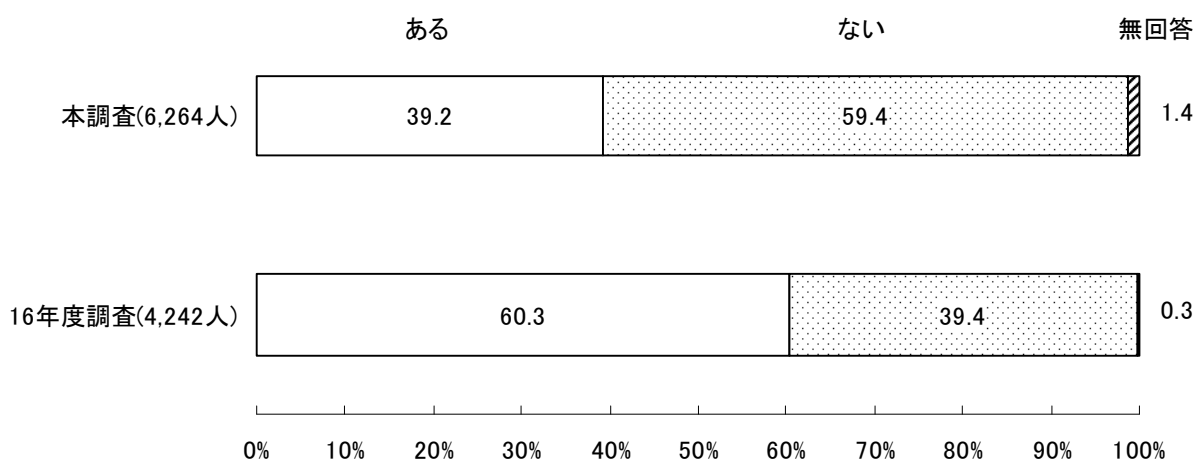
2 日常よく出かけるところに着くまでのバリア

(1) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無－16 年度調査と比較

「バリアがある」の割合は約 4 割

日常よく出かけるところ（職場、学校、買い物先など）に着くまでに、道路や駅、電車やバスなどで、バリアフリー化が進んでいないために、不便や不安を感じる場所があるか（以下「バリアの有無」）を聞いたところ、「ある」の割合は 39.2%で、16 年度調査と比べると、21.1 ポイント低くなっている。（図Ⅱ-1-2）

図Ⅱ-1-2 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無－16 年度調査と比較

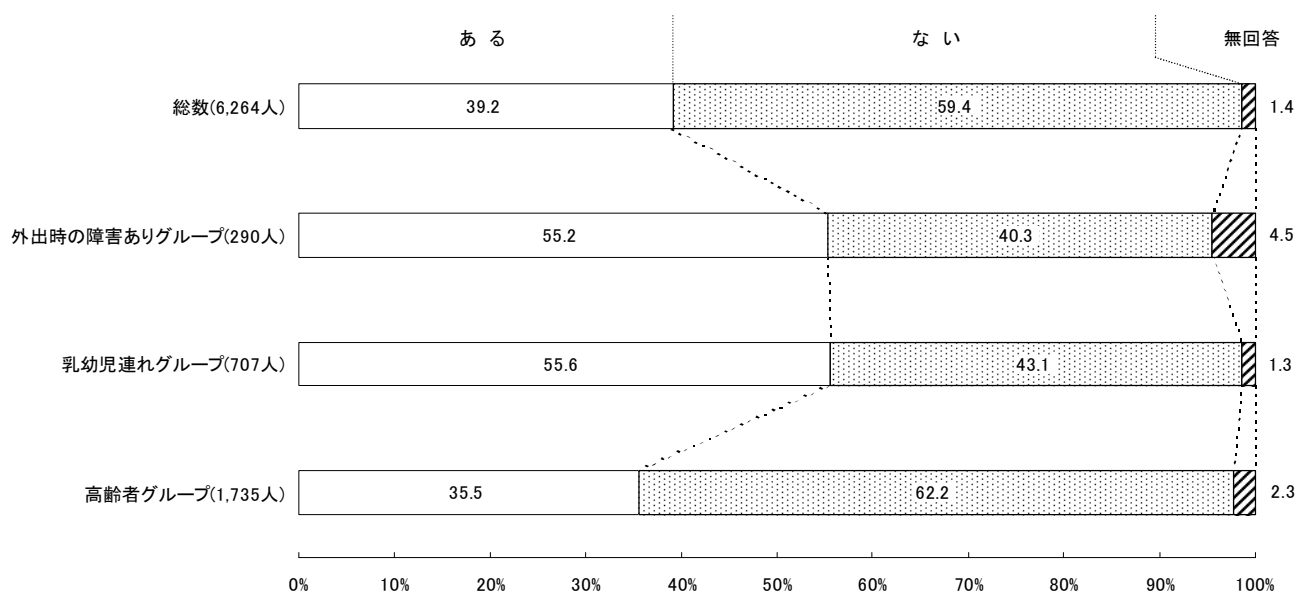


(2) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無－外出時グループ別

「外出時の障害ありグループ」「乳幼児連れグループ」で、「バリアがある」の割合は5割超

日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無を外出時グループ別にみると、バリアを感じる場所が「ある」の割合は、「外出時の障害ありグループ」は55.2%と、総数と比べて16.0ポイント高く、「乳幼児連れグループ」は55.6%と、総数と比べて16.4ポイント高くなっている。(図Ⅱ-1-3)

図Ⅱ-1-3 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無－外出時グループ別



(3) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無一性・年齢階級別

「バリアがある」の割合は、女性の方が高い

日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無を性・年齢階級別にみると、バリアを感じるところが「ある」の割合は、男性 34.5%、女性 43.4%と、女性の方が 8.9 ポイント高くなっている。(表Ⅱ-1-8)

表Ⅱ-1-8 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの有無一性・年齢階級別

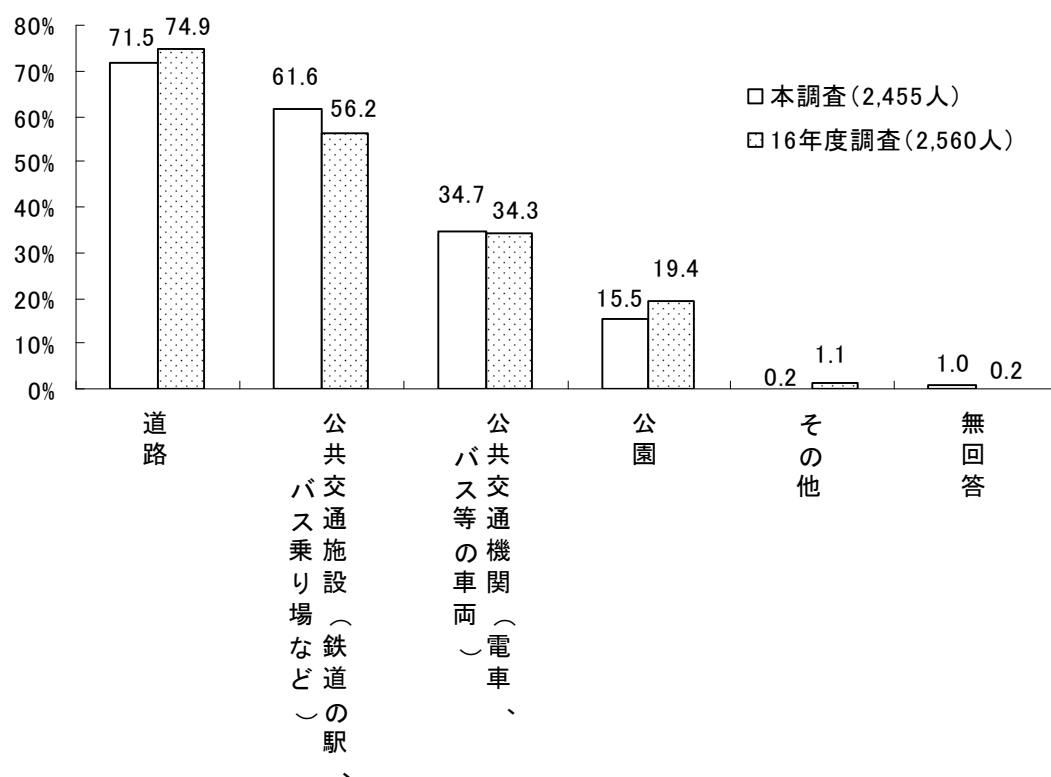
	総 数	あ る	な い	無 回 答
総数	100.0 (6,264)	39.2	59.4	1.4
男	100.0 (2,962)	<u>34.5</u>	64.2	1.4
20～29歳	100.0 (284)	29.6	69.4	1.1
30～39歳	100.0 (470)	33.8	64.7	1.5
40～49歳	100.0 (522)	37.2	62.3	0.6
50～59歳	100.0 (483)	34.4	64.6	1.0
60～69歳	100.0 (643)	33.4	65.3	1.2
70～79歳	100.0 (419)	33.4	65.3	1.2
80歳以上	100.0 (139)	46.0	52.5	1.4
(再掲)65歳以上	100.0 (863)	35.3	62.7	2.0
女	100.0 (3,302)	<u>43.4</u>	55.2	1.4
20～29歳	100.0 (340)	41.8	57.4	0.9
30～39歳	100.0 (522)	52.5	46.9	0.6
40～49歳	100.0 (639)	46.0	53.4	0.6
50～59歳	100.0 (569)	48.0	50.6	1.4
60～69歳	100.0 (656)	34.9	63.6	1.5
70～79歳	100.0 (416)	36.8	60.8	2.4
80歳以上	100.0 (157)	42.7	52.9	4.5
(再掲)65歳以上	100.0 (872)	35.7	61.7	2.6

(4) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕－16年度調査と比較

バリアの箇所は、「道路」7割、「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」6割

日常よく出かけるところに着くまでにバリアを感じるところが「ある」と回答した人（2,455人）に、バリアを感じる箇所（以下、「バリアの箇所」）を聞いたところ、「道路」の割合が最も高く 71.5%、次いで、「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」が 61.6%と続いている。（図Ⅱ-1-4）

図Ⅱ-1-4 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕－16年度調査と比較



（注）16年度調査では、「公園」は、「公園・緑地・庭園等」として回答を求めている。

(5) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕―地域別

「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」の割合は、市町村部より区部の方が高い

バリアの箇所を地域別にみると、「道路」の割合は、区部は 68.0%、市町村部は 77.4%と、市町村部の方が 9.4 ポイント高くなっている。

また、「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」の割合は、区部が 65.7%、市町村部 54.7%と、区部の方が 11.0 ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-9）

表Ⅱ-1-9 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕―地域別

	総 数	道 路	公 園	乗（公 り鉄道交 場道通施 などの駅、設 バス	車（公 両電共 ）車交 公共交通 機 関 等 の	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (2,455)	71.5	15.5	61.6	34.7	0.2	1.0
区部	100.0 (1,546)	<u>68.0</u>	15.1	<u>65.7</u>	35.6	0.3	1.1
区中央部	100.0 (153)	64.7	15.7	71.9	33.3	1.3	0.7
区南部	100.0 (178)	68.0	14.0	71.3	33.1	0.6	1.1
区西南部	100.0 (217)	69.1	12.9	69.1	42.4	－	1.4
区西部	100.0 (176)	64.2	12.5	70.5	38.6	－	1.1
区西北部	100.0 (366)	66.4	15.8	64.5	36.3	0.5	0.8
区東北部	100.0 (187)	72.7	18.2	58.8	35.3	－	1.1
区東部	100.0 (269)	70.6	16.0	58.7	30.5	－	1.5
市・町・村部	100.0 (909)	<u>77.4</u>	16.1	<u>54.7</u>	33.0	0.1	0.8
西多摩	100.0 (114)	80.7	16.7	55.3	29.8	0.9	2.6
南多摩	100.0 (280)	78.9	18.9	50.0	37.1	－	0.4
北多摩西部	100.0 (93)	78.5	15.1	55.9	31.2	－	1.1
北多摩南部	100.0 (242)	74.4	13.6	57.4	31.0	－	0.4
北多摩北部	100.0 (180)	76.7	15.0	57.2	32.2	－	0.6

(注) 本報告書における「地域」とは、集計対象者の居住地域を示すものである。

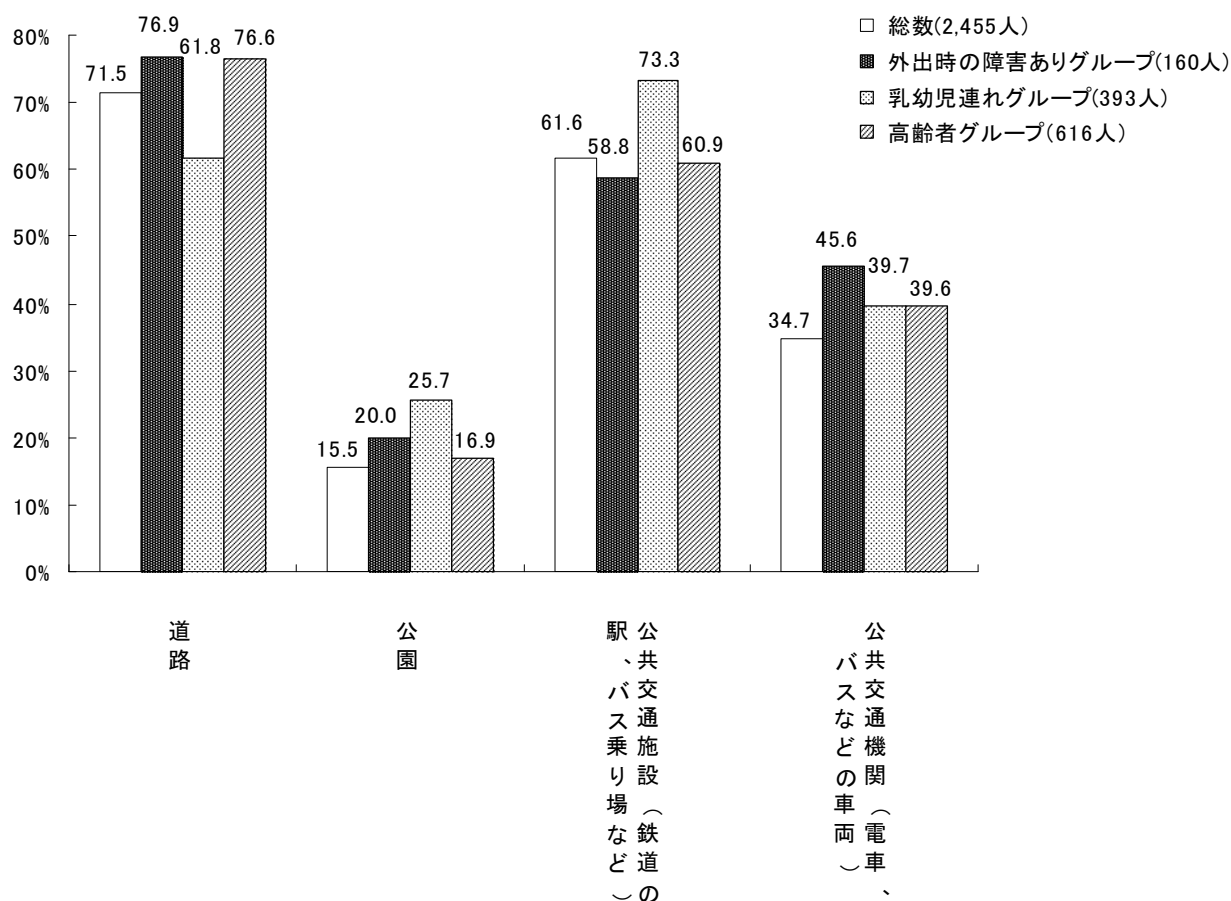
(6) 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕－外出時グループ別

「乳幼児連れグループ」は、「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」の割合が、総数に比べて高い

バリアの箇所を外出時グループ別にみると、「乳幼児連れグループ」は、「公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）」の割合が73.3%と最も高く、総数に比べて、11.7ポイント高くなっている。

「高齢者グループ」は、「道路」の割合が76.6%と最も高く、総数に比べて5.1ポイント高くなっている。(図Ⅱ-1-5)

図Ⅱ-1-5 日常よく出かけるところに着くまでのバリアの箇所〔複数回答〕－外出時グループ別



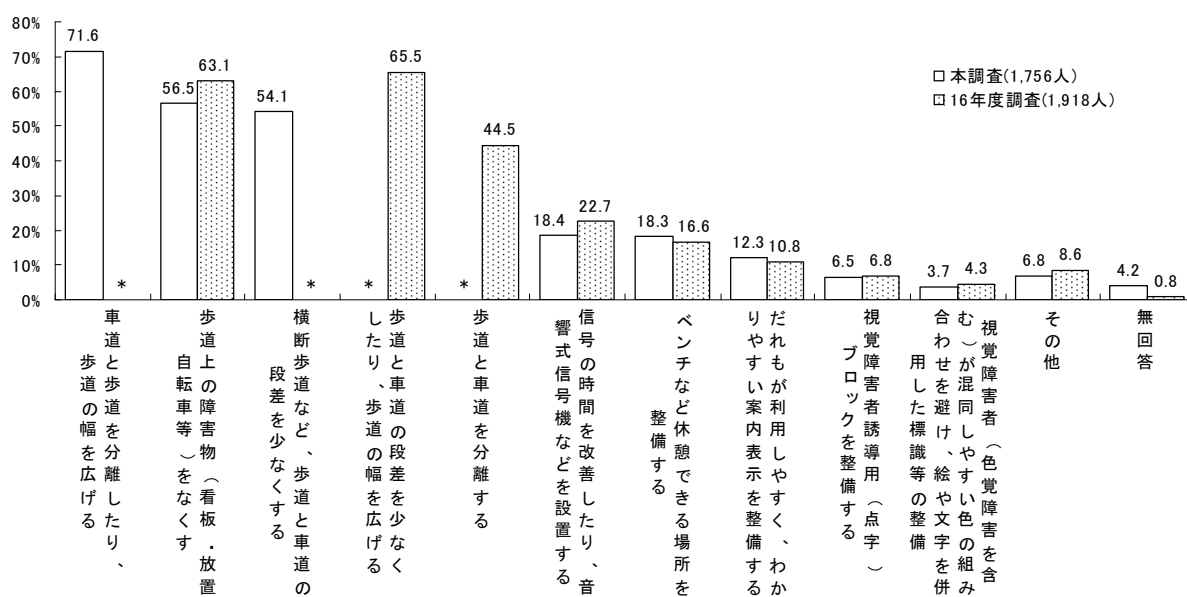
(7) 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕－16 年度調査と比較

「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高く、約 7 割

道路でバリアを感じるところが「ある」と答えた人（1,756 人）に、道路を利用しやすくするためにどのような整備が必要だと思うか聞いたところ、「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高く 71.6%、次いで、「歩道上の障害物（看板・放置自転車等）をなくす」が 56.5%、「横断歩道など、歩道と車道の段差を少なくする」が 54.1%と続いている。

（図Ⅱ-1-6）

図Ⅱ-1-6 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕－16 年度調査と比較



（注）本調査では、16 年度調査の「歩道と車道の段差を少なくしたり、歩道の幅を広げる」と「歩道と車道を分離する」の 2 項目に替え、新規項目として「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」と「横断歩道など、歩道と車道の段差を少なくする」の 2 項目で回答を求めている。

(8) 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕一性・年齢階級別

男女いずれの年齢階級でも、「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高い

道路で整備が必要なことを性・年齢階級別にみると、男女いずれの年代でも「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高くなっている。

また、「横断歩道など、歩道と車道の段差を少なくする」の割合は、男性 49.9%、女性 57.0%と、女性の方が 7.1 ポイント高くなっている。(表Ⅱ-1-10)

表Ⅱ-1-10 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕一性・年齢階級別

	総数	車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる	横断歩道など、歩道と車道の段差を少なくする	歩道上の障害物（看板・放置自転車等）をなくす	信号の時間などを改善したり、音響式信号の機などを設置する	だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する	視覚障害者誘導用（点字）ブロックを整備する	視覚障害者（色覚障害を含む）が、混同しやすい色の組み合わせを避け、絵や文字などを併用した標識等の整備をする	ベンチなど休憩できる場所を整備する	その他	無回答
総数	100.0 (1,756)	71.6	54.1	56.5	18.4	12.3	6.5	3.7	18.3	6.8	4.2
男	100.0 (710)	71.7	49.9	57.6	17.9	13.2	6.5	5.5	17.6	7.5	5.5
20～29歳	100.0 (51)	78.4	54.9	45.1	11.8	15.7	13.7	2.0	25.5	3.9	3.9
30～39歳	100.0 (92)	76.1	50.0	47.8	18.5	13.0	7.6	3.3	21.7	13.0	2.2
40～49歳	100.0 (138)	76.8	52.9	57.2	17.4	13.8	6.5	8.7	10.9	8.0	4.3
50～59歳	100.0 (114)	69.3	51.8	68.4	9.6	14.9	4.4	7.0	14.0	4.4	5.3
60～69歳	100.0 (160)	74.4	54.4	60.6	16.3	12.5	5.0	3.8	17.5	8.1	6.3
70～79歳	100.0 (109)	60.6	36.7	59.6	28.4	14.7	8.3	6.4	20.2	5.5	7.3
80歳以上	100.0 (45)	64.4	46.7	51.1	26.7	4.4	2.2	4.4	24.4	8.9	8.9
(再掲)65歳以上	100.0 (232)	65.9	43.5	57.3	25.9	10.8	5.6	5.2	19.8	8.2	7.3
女	100.0 (1,046)	71.6	57.0	55.7	18.7	11.7	6.6	2.5	18.8	6.4	3.3
20～29歳	100.0 (82)	82.9	48.8	47.6	25.6	11.0	12.2	2.4	20.7	4.9	1.2
30～39歳	100.0 (175)	81.1	57.1	48.0	16.6	6.9	4.6	2.3	14.9	8.0	2.3
40～49歳	100.0 (222)	76.1	61.3	59.9	14.4	9.0	5.0	2.7	13.1	6.3	3.2
50～59歳	100.0 (217)	68.7	56.7	60.8	18.0	12.0	7.8	3.7	18.0	6.5	4.6
60～69歳	100.0 (173)	64.2	61.3	60.7	17.3	16.2	9.2	2.3	22.0	6.4	2.3
70～79歳	100.0 (127)	66.1	52.8	55.1	27.6	15.7	3.9	1.6	25.2	5.5	3.9
80歳以上	100.0 (49)	51.0	49.0	38.8	18.4	14.3	4.1	—	32.7	6.1	6.1
(再掲)65歳以上	100.0 (240)	64.2	53.8	50.8	22.5	15.0	6.3	1.3	26.7	6.7	4.2

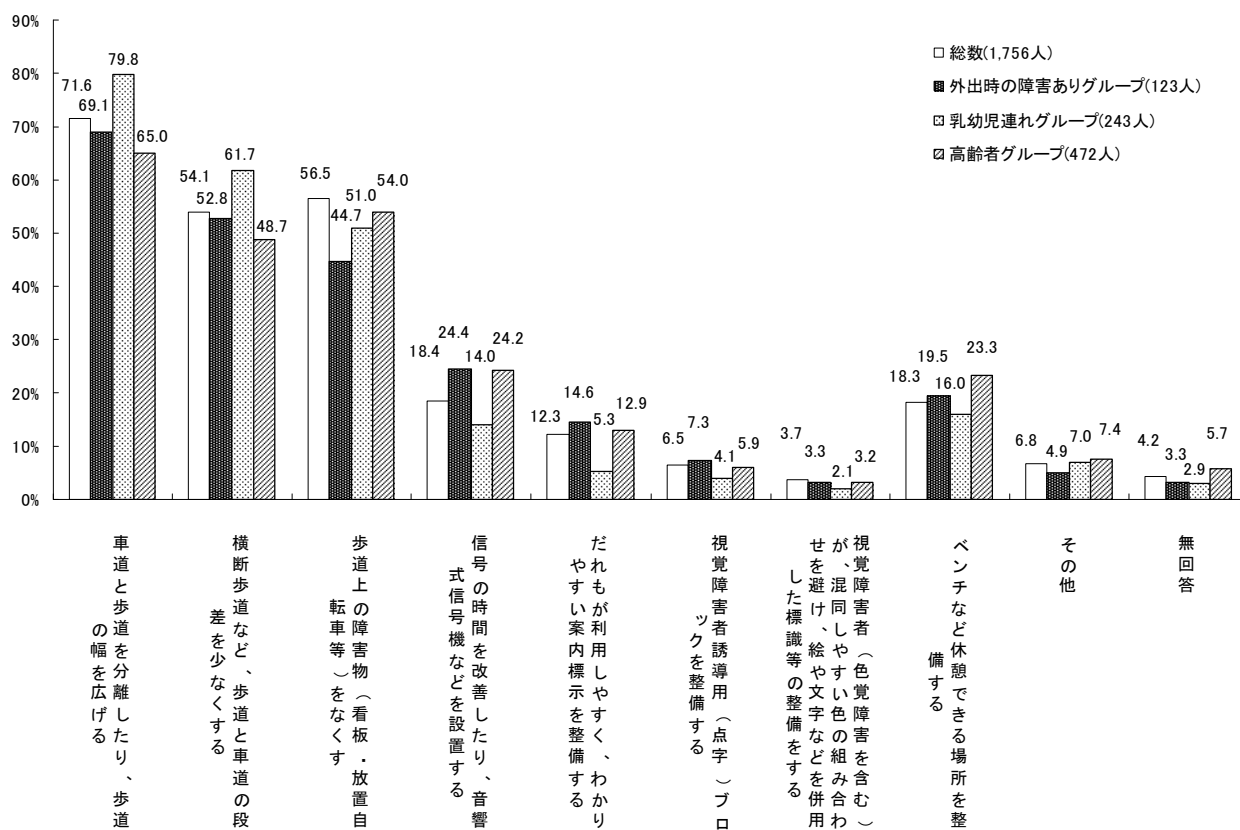
(9) 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕－外出時グループ別

高齢者では、「信号機の改善・設置」「ベンチなど休憩場所の整備」の割合が、総数に比べて高い

道路で整備が必要なことを外出時グループ別にみると、「乳幼児連れグループ」は、「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる（79.8%）」、「横断歩道など、歩道と車道の段差を少なくする（61.7%）」の2項目の割合が、総数に比べて高くなっている。

「高齢者グループ」は、「信号の時間を改善したり、音響式信号機などを設置する（24.2%）」、「ベンチなど休憩できる場所を整備する（23.3%）」の2項目の割合が、総数に比べて高くなっている。（図Ⅱ-1-7）

図Ⅱ-1-7 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕－外出時グループ別



(10) 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

いずれの障害でも、「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高い

道路で整備が必要なことを外出時の障害の有無別にみると、いずれの障害でも、「車道と歩道を分離したり、歩道の幅を広げる」の割合が最も高くなっている。（表Ⅱ-1-11）

表Ⅱ-1-11 道路で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

	総 数	の車 道と歩 道を分 離した り、歩 道	横断歩 道など 、歩道 と車道 の段	歩道上 の障害 物（看 板・放 置自	信号機 の時間 などを 設置す る、音 響	だれも が利用 しやす く、わ かり	視覚障 害者誘 導用（ 点字） プロ	視覚障 害者（ 色覚障 害を含 む）の 標識等 の整備 をする	ベンチ など休 憩でき る場所 を整	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,756)	71.6	54.1	56.5	18.4	12.3	6.5	3.7	18.3	6.8	4.2
外出時に何らかの障害がある	100.0 (123)	<u>69.1</u>	52.8	44.7	24.4	14.6	7.3	3.3	19.5	4.9	3.3
視覚	100.0 (34)	<u>61.8</u>	47.1	35.3	23.5	17.6	8.8	5.9	32.4	2.9	2.9
聴覚	100.0 (39)	<u>69.2</u>	59.0	41.0	28.2	17.9	7.7	7.7	17.9	－	5.1
肢体	100.0 (84)	<u>71.4</u>	57.1	44.0	27.4	19.0	7.1	3.6	20.2	2.4	1.2
内部	100.0 (53)	<u>66.0</u>	49.1	50.9	22.6	20.8	3.8	3.8	24.5	9.4	3.8
その他	100.0 (58)	<u>63.8</u>	51.7	46.6	25.9	15.5	8.6	3.4	24.1	3.4	1.7
外出時に障害がない	100.0 (1,616)	71.9	54.3	57.2	17.9	12.1	6.5	3.8	18.2	7.0	4.2

(11) 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

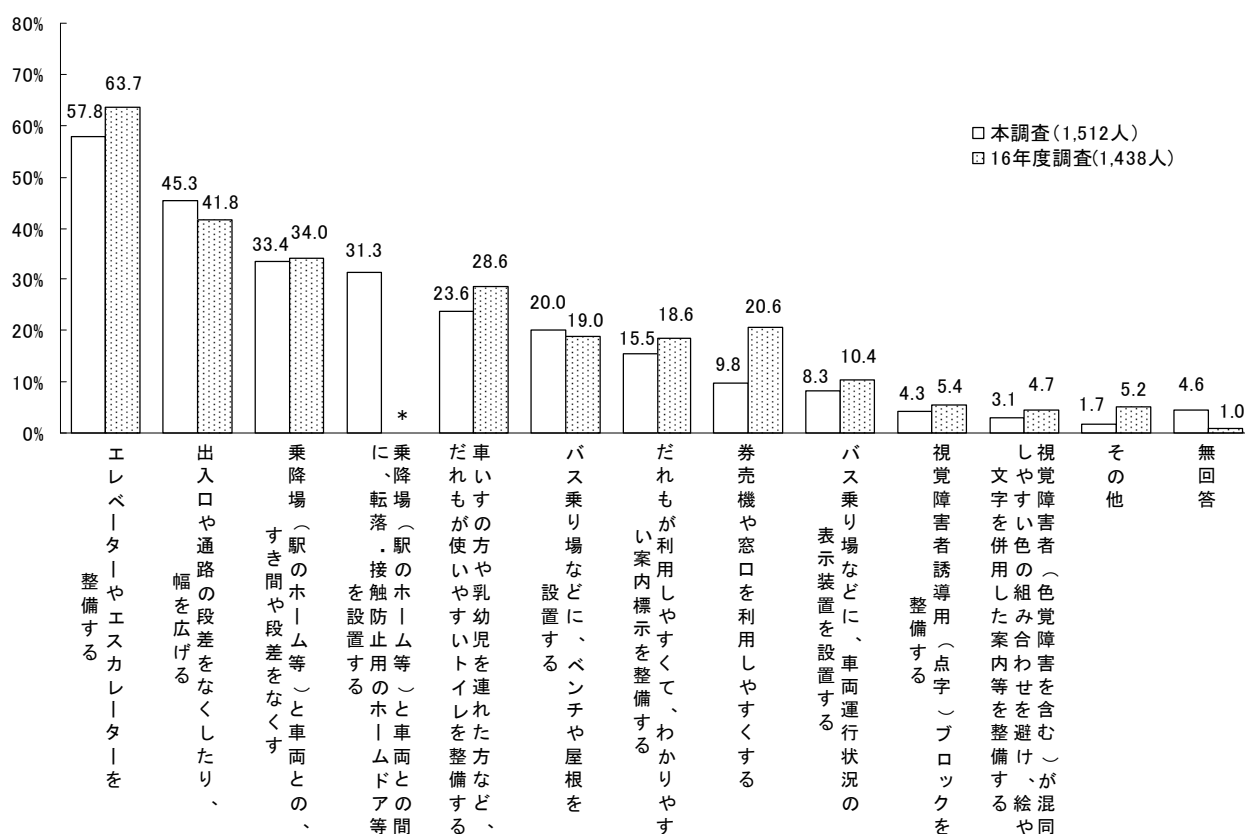
－16 年度調査と比較

「エレベーターやエスカレーターの整備」の割合が最も高く、5 割超

公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）でバリアを感じるところが「ある」と答えた人（1,512 人）に、公共交通施設を利用しやすくするためにどのような整備が必要だと思うか聞いたところ、「エレベーターやエスカレーターを整備する」の割合が最も高く 57.8%、次いで、「出入口や通路の段差をなくしたり、幅を広げる」45.3%、「乗降場（駅のホーム等）と車両との、すき間や段差をなくす」33.4%、「乗降場（駅のホーム等）と車両との間に、転落・接触防止用のホームドア等を設置する」31.3%と続いている。（図Ⅱ-1-8）

図Ⅱ-1-8 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－16 年度調査と比較



（注）16 年度調査では、「乗降場（駅のホーム等）と車両との間に、転落・接触防止用のホームドア等を設置する」の選択肢を設けていないため、データが存在しない。

(12) 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

一性・年齢階級別

「駅ホームと車両とのすき間や段差をなくす」の割合は、男性より女性の方が高い

公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なことを性・年齢階級別にみると、「乗降場（駅のホーム等）と車両との、すき間や段差をなくす」は、男性 27.0%、女性 38.2%と、女性の方が 11.2 ポイント高くなっている。

特に、30 代では、男性 22.3%、女性 41.4%と、女性の方が 19.1 ポイント高く、40 代では、男性 24.6%、女性 46.3%と、女性の方が 21.7 ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-12）

表Ⅱ-1-12 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

一性・年齢階級別

	総 数	出 入 口 幅 を 広 げ る	エ レ ベ ー タ ー や エ ス カ レ ー タ ー を 整 備 す る	車 い す の 方 や 乳 幼 児 を 連 れた 方 レ を 整 備 す る	だ れ も が 利 用 し や す く 、 わ か り や す い 案 内 標 示 を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 誘 導 用 （ 点 字 ） ブ ロ ッ ク を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 （ 色 覚 障 害 を 含 む ） を 避 け 、 絵 や 文 字 な ど を 併 合 し た 案 内 等 を 整 備 す る	券 売 機 や 窓 口 を 利 用 し や す く す る	乗 降 場 （ 駅 の ホ ー ム 等 ） と 車 両 の す き 間 や 段 差 を な く す	乗 降 場 （ 駅 の ホ ー ム 等 ） と 車 両 の 間 に 、 転 落 ・ 接 触 防 止 用 の ホ ー ム ド ア 等 を 設 置 す る	バ ス 乗 り 場 な ど に 、 ベ ン チ や 屋 根 を 設 置 す る	バ ス 乗 り 場 な ど に 、 車 両 運 行 状 況 の 表 示 装 置 を 設 置 す る	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,512)	45.3	57.8	23.6	15.5	4.3	3.1	9.8	33.4	31.3	20.0	8.3	1.7	4.6
男	100.0 (645)	47.0	58.3	22.9	14.7	3.7	3.7	9.5	27.0	30.7	19.4	7.3	2.2	5.7
20～29歳	100.0 (53)	39.6	58.5	22.6	5.7	1.9	5.7	13.2	39.6	20.8	26.4	3.8	5.7	7.5
30～39歳	100.0 (103)	51.5	77.7	28.2	7.8	4.9	3.9	3.9	22.3	16.5	7.8	1.9	3.9	4.9
40～49歳	100.0 (118)	50.8	64.4	26.3	14.4	4.2	3.4	7.6	24.6	30.5	14.4	5.9	2.5	3.4
50～59歳	100.0 (110)	50.9	53.6	21.8	9.1	3.6	4.5	14.5	32.7	41.8	16.4	8.2	0.9	6.4
60～69歳	100.0 (132)	47.7	51.5	22.0	22.7	3.0	3.0	12.1	26.5	34.8	22.7	11.4	2.3	3.8
70～79歳	100.0 (89)	37.1	47.2	22.5	22.5	4.5	4.5	9.0	20.2	33.7	30.3	10.1	-	7.9
80歳以上	100.0 (39)	43.6	51.3	7.7	17.9	2.6	-	2.6	30.8	30.8	28.2	7.7	-	10.3
(再掲)65歳以上	100.0 (189)	40.7	47.6	20.1	19.6	4.2	3.2	8.5	24.3	32.8	28.0	10.1	1.6	6.9
女	100.0 (867)	44.1	57.4	24.1	16.0	4.7	2.7	10.0	38.2	31.8	20.4	9.1	1.4	3.8
20～29歳	100.0 (99)	43.4	72.7	26.3	10.1	6.1	2.0	10.1	32.3	31.3	12.1	4.0	3.0	4.0
30～39歳	100.0 (169)	46.7	65.1	31.4	11.2	3.6	1.8	7.1	41.4	26.0	10.1	6.5	1.8	4.7
40～49歳	100.0 (175)	47.4	52.6	20.0	11.4	4.6	2.3	10.3	46.3	32.6	18.9	10.3	1.1	3.4
50～59歳	100.0 (148)	48.6	53.4	23.6	14.2	7.4	4.7	8.8	37.8	34.5	19.6	6.1	1.4	2.7
60～69歳	100.0 (137)	36.5	51.1	24.1	19.7	5.1	3.6	10.2	35.0	40.9	23.4	14.6	1.5	4.4
70～79歳	100.0 (96)	46.9	52.1	21.9	32.3	2.1	-	15.6	31.3	24.0	33.3	13.5	-	3.1
80歳以上	100.0 (41)	24.4	58.5	14.6	26.8	2.4	2.4	12.2	31.7	31.7	48.8	9.8	-	4.9
(再掲)65歳以上	100.0 (186)	38.2	51.6	19.4	25.8	4.3	1.1	13.4	32.8	27.4	35.5	14.0	0.5	4.3

(13) 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時グループ別

「乳幼児連れグループ」は、「エレベーターやエスカレーターの整備」の割合が高く、約7割

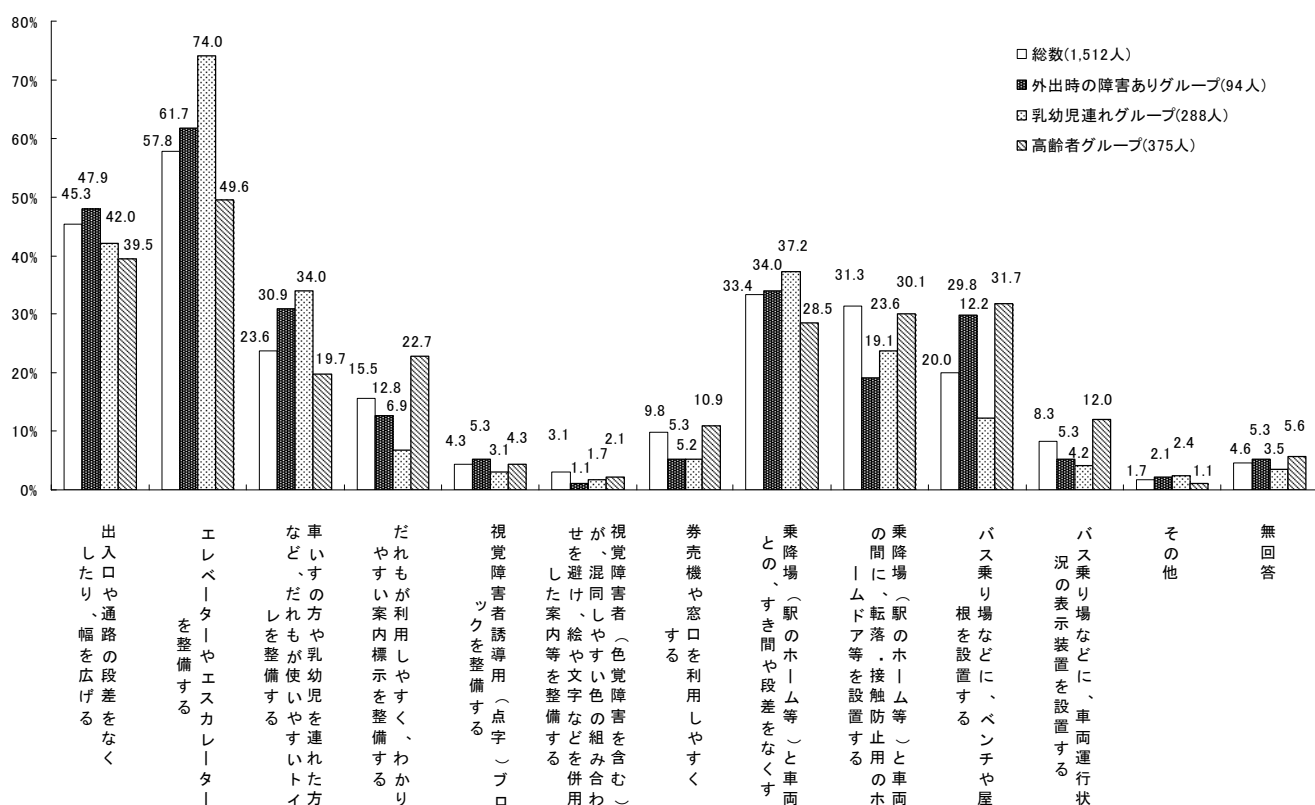
公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なことを外出時グループ別にみると、「外出時の障害ありグループ」は、「バス乗り場などに、ベンチや屋根を設置する」の割合が29.8%と、総数に比べて9.8ポイント高くなっている。

また、「乳幼児連れグループ」は、「エレベーターやエスカレーターを整備する」が74.0%と、総数に比べて16.2ポイント高く、「車いすの方や乳幼児を連れた方など、だれもが使いやすいトイレを整備する」が34.0%と、総数に比べて10.4ポイント高くなっている。

「高齢者グループ」は、「だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する」が22.7%と、総数に比べて7.2ポイント高く、「バス乗り場などに、ベンチや屋根を設置する」が31.7%と、総数に比べて11.7ポイント高くなっている。（図Ⅱ-1-9）

図Ⅱ-1-9 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時グループ別



(14) 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

「外出時に何らかの障害がある」人、「ない」人、上位3項目は同じ

公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なことを外出時の障害の有無別にみると、障害の有無に関わらず、上位3項目は、「エレベーターやエスカレーターを整備する」、「出入口や通路の段差をなくしたり、幅を広げる」、「乗降場（駅のホーム等）と車両との、すき間や段差をなくす」となっている。（表Ⅱ-1-13）

表Ⅱ-1-13 公共交通施設（鉄道の駅、バス乗り場など）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

	総 数	出 入 口 や 通 路 の 段 差 を な く し た 幅 を 広 げ る	エ レ ベ ー タ ー や エ ス カ レ ー タ ー を 整 備 す る	車 い す の 方 や 乳 幼 児 を 連 れ た 方 な ど、 だ れ も が 使 い や す い ト イ レ を 整 備 す る	だ れ も が 利 用 し や す く、 わ か り や す い 案 内 標 示 を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 誘 導 用 （ 点 字 ） ブ ロ ツ ク を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 （ 色 覚 障 害 を 含 む ） が、 混 同 し し や す い 色 の 組 み 合 わ せ を 避 け、 絵 や 文 字 な ど を 併 用 し た 案 内 等 を 整 備 す る	券 売 機 や 窓 口 を 利 用 し や す く す る	乗 降 場 （ 駅 の ホ ー ム 等 ） と 車 両 の す き 間 や 段 差 を な く す	乗 降 場 （ 駅 の ホ ー ム 等 ） と 車 両 の 間 に、 転 落・ 接 触 防 止 用 の ホ ー ム ド ア 等 を 設 置 す る	バ ス 乗 り 場 な ど に、 ベ ン チ や 屋 根 を 設 置 す る	バ ス 乗 り 場 な ど に、 車 両 運 行 状 況 の 表 示 装 置 を 設 置 す る	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,512)	45.3	57.8	23.6	15.5	4.3	3.1	9.8	33.4	31.3	20.0	8.3	1.7	4.6
外出時に何らかの障害がある	100.0 (94)	47.9	61.7	30.9	12.8	5.3	1.1	5.3	34.0	19.1	29.8	5.3	2.1	5.3
視覚	100.0 (22)	59.1	50.0	27.3	18.2	9.1	4.5	9.1	50.0	13.6	27.3	4.5	4.5	-
聴覚	100.0 (31)	38.7	54.8	35.5	12.9	6.5	3.2	-	48.4	12.9	29.0	-	3.2	3.2
肢体	100.0 (61)	54.1	68.9	39.3	6.6	6.6	1.6	3.3	26.2	18.0	26.2	6.6	1.6	8.2
内部	100.0 (39)	51.3	56.4	33.3	12.8	5.1	2.6	5.1	35.9	17.9	38.5	10.3	5.1	5.1
その他	100.0 (52)	50.0	63.5	32.7	11.5	5.8	-	3.8	34.6	19.2	32.7	9.6	1.9	5.8
外出時に障害がない	100.0 (1,404)	45.1	57.3	22.9	15.7	4.2	3.1	10.0	33.6	32.3	19.4	8.5	1.7	4.6

(15) 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

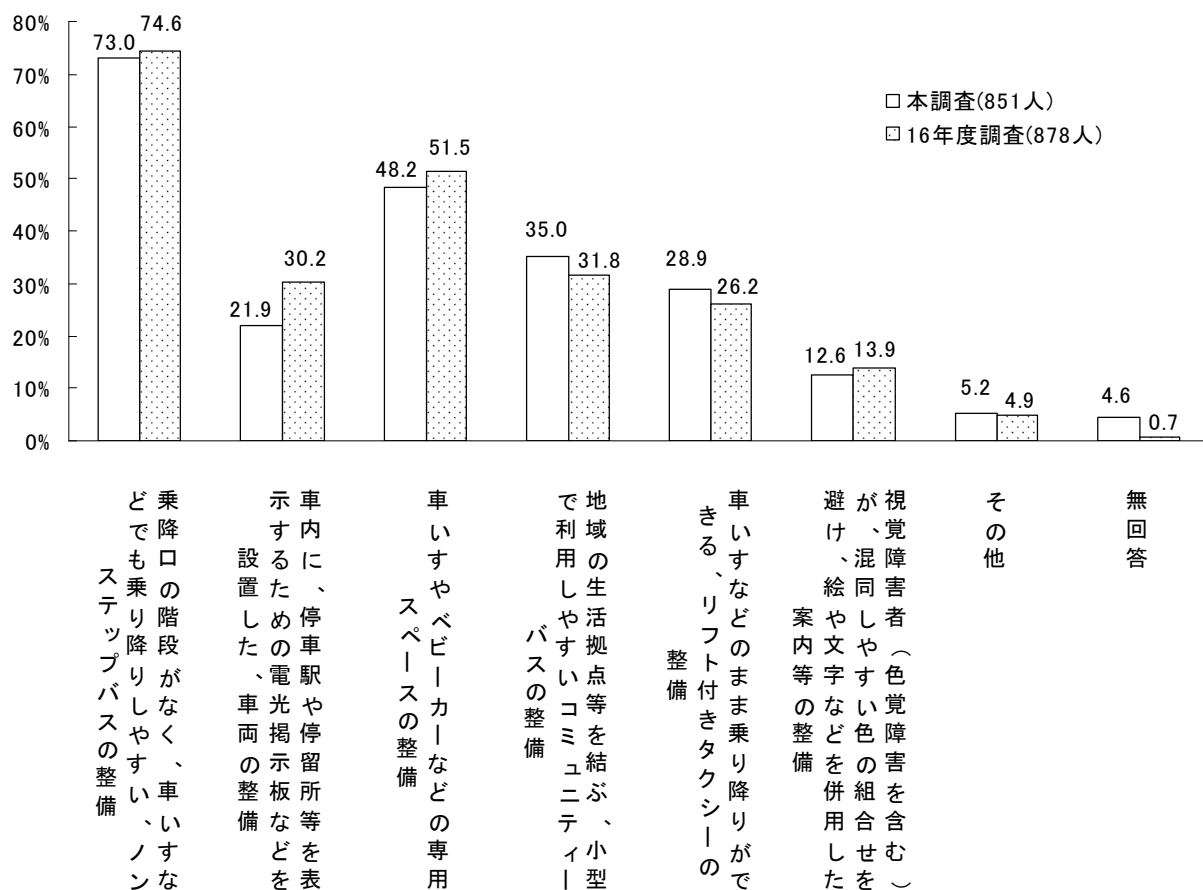
－16年度調査と比較

「ノンステップバスの整備」の割合が最も高く、約7割

公共交通機関（電車・バスなどの車両）でバリアを感じるところが「ある」と答えた人（851人）に、公共交通機関を利用しやすくするためにどのような整備が必要だと思うか聞いたところ、「乗降口の階段がなく、車いすなどでも乗り降りしやすい、ノンステップバスの整備」の割合が最も高く73.0%、次いで「車いすやベビーカーなどの専用スペースの整備」が48.2%と続いている。（図Ⅱ-1-10）

図Ⅱ-1-10 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－16年度調査と比較



(16) 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕一性・年齢階級別

男女いずれの年齢階級でも、「ノンステップバスの整備」の割合が最も高い

公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なことを性・年齢階級別にみると、男女いずれの年代でも、「乗降口の階段がなく、車いすなどでも乗り降りしやすい、ノンステップバスの整備」の割合が最も高くなっている。（表Ⅱ-1-14）

表Ⅱ-1-14 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

一性・年齢階級別

	総 数	乗 降 口 の 階 段 が な く 、 車 い す な ど も 乗 り 降 り し や す い 、 ノ ン ス テ ッ プ バ ス の 整 備	車 内 に 、 停 車 駅 や 停 留 所 等 を 表 示 す る た め の 電 光 掲 示 板 な ど を 表 設 置 し た 、 車 両 の 整 備	車 い す や ベ ー カ ー な ど の 専 用 ス ペ ー ス の 整 備	地 域 の 生 活 拠 点 等 を 結 ぶ 、 小 型 バ ス の 整 備	車 い す な ど の ま ま 乗 り 降 り が で き る 、 リ フ ト 付 き タ ク シ ー の 整 備	視 覚 障 害 者 （ 色 覚 障 害 を 含 む ） の 利 便 さ を 高 め る た り 、 車 内 の 整 潔 を 保 持 す る た り 、 車 内 の 整 備	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (851)	73.0	21.9	48.2	35.0	28.9	12.6	5.2	4.6
男	100.0 (333)	69.7	24.3	46.2	35.4	30.0	13.5	5.1	5.1
20～29歳	100.0 (31)	74.2	19.4	48.4	32.3	22.6	9.7	16.1	3.2
30～39歳	100.0 (43)	60.5	20.9	58.1	20.9	27.9	9.3	2.3	7.0
40～49歳	100.0 (61)	65.6	21.3	55.7	27.9	31.1	9.8	6.6	3.3
50～59歳	100.0 (60)	63.3	35.0	38.3	41.7	38.3	15.0	3.3	5.0
60～69歳	100.0 (64)	78.1	23.4	46.9	45.3	25.0	14.1	7.8	3.1
70～79歳	100.0 (48)	68.8	25.0	37.5	45.8	33.3	18.8	－	6.3
80歳以上	100.0 (25)	84.0	20.0	32.0	24.0	24.0	20.0	－	12.0
(再掲)65歳以上	100.0 (109)	74.3	21.1	36.7	40.4	26.6	20.2	2.8	6.4
女	100.0 (518)	75.1	20.3	49.4	34.7	28.2	12.0	5.2	4.2
20～29歳	100.0 (49)	73.5	28.6	44.9	22.4	30.6	10.2	8.2	6.1
30～39歳	100.0 (93)	76.3	11.8	72.0	24.7	19.4	6.5	8.6	5.4
40～49歳	100.0 (98)	72.4	18.4	56.1	40.8	27.6	10.2	4.1	3.1
50～59歳	100.0 (93)	73.1	19.4	41.9	36.6	37.6	16.1	5.4	5.4
60～69歳	100.0 (83)	78.3	18.1	53.0	41.0	36.1	15.7	2.4	1.2
70～79歳	100.0 (74)	73.0	27.0	28.4	37.8	21.6	13.5	4.1	5.4
80歳以上	100.0 (28)	85.7	32.1	28.6	35.7	17.9	10.7	3.6	3.6
(再掲)65歳以上	100.0 (135)	75.6	27.4	33.3	36.3	25.9	14.1	3.7	4.4

(17) 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

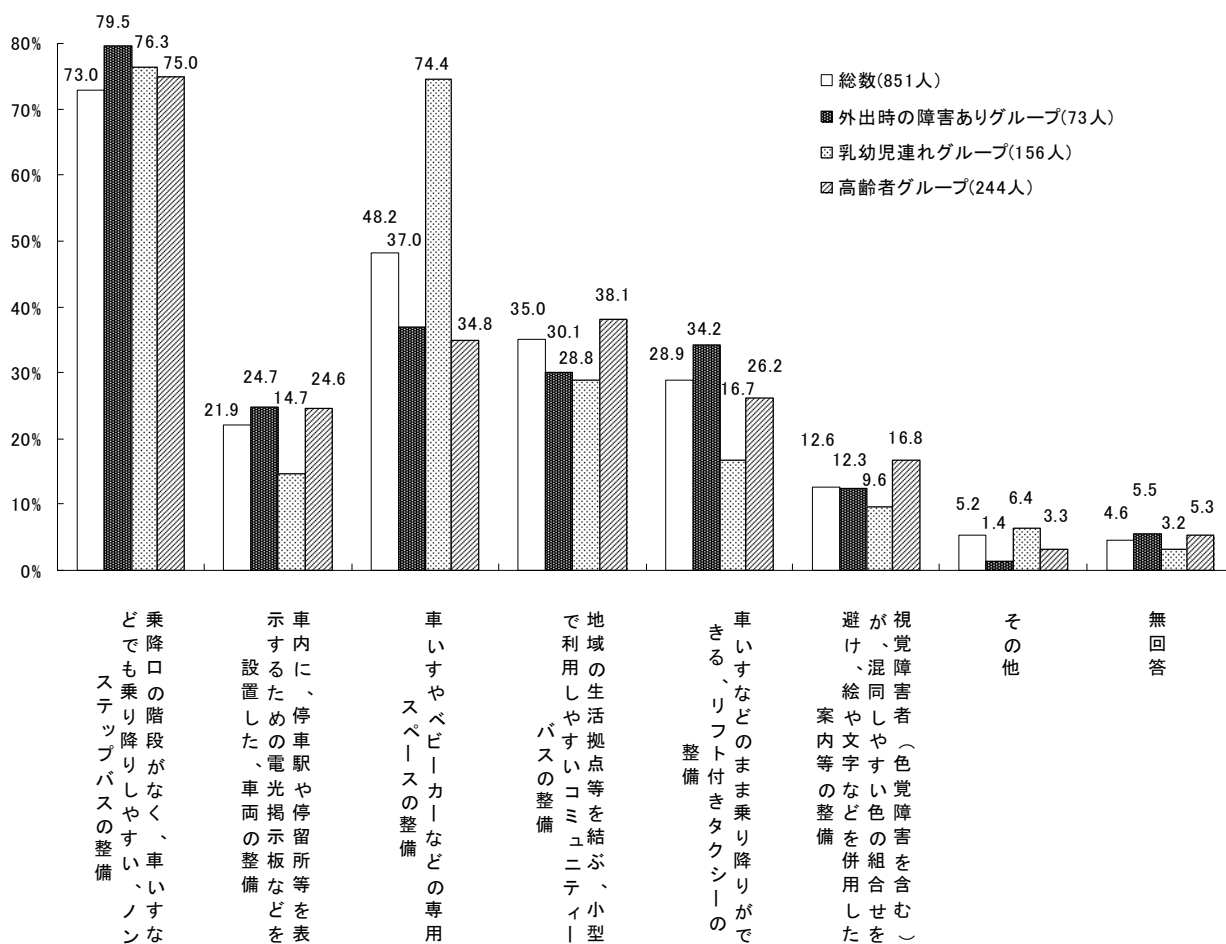
ー外出時グループ別

「乳幼児連れグループ」は、「車いすやベビーカー専用スペースの整備」の割合が高く、約7割

公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なことを外出時グループ別にみると、「乳幼児連れグループ」は、「車いすやベビーカーなどの専用スペースの整備」が74.4%と、総数に比べて、26.2ポイント高くなっている。（図Ⅱ-1-11）

図Ⅱ-1-11 公共交通機関（電車、バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

ー外出時グループ別



(18) 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

いずれの障害でも、「ノンステップバスの整備」の割合が最も高い

公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なことを外出時の障害の有無別にみると、いずれの障害でも、「乗降口の階段がなく、車いすなどでも乗り降りしやすい、ノンステップバスの整備」の割合が最も高くなっている。（表Ⅱ-1-15）

表Ⅱ-1-15 公共交通機関（電車・バスなどの車両）で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

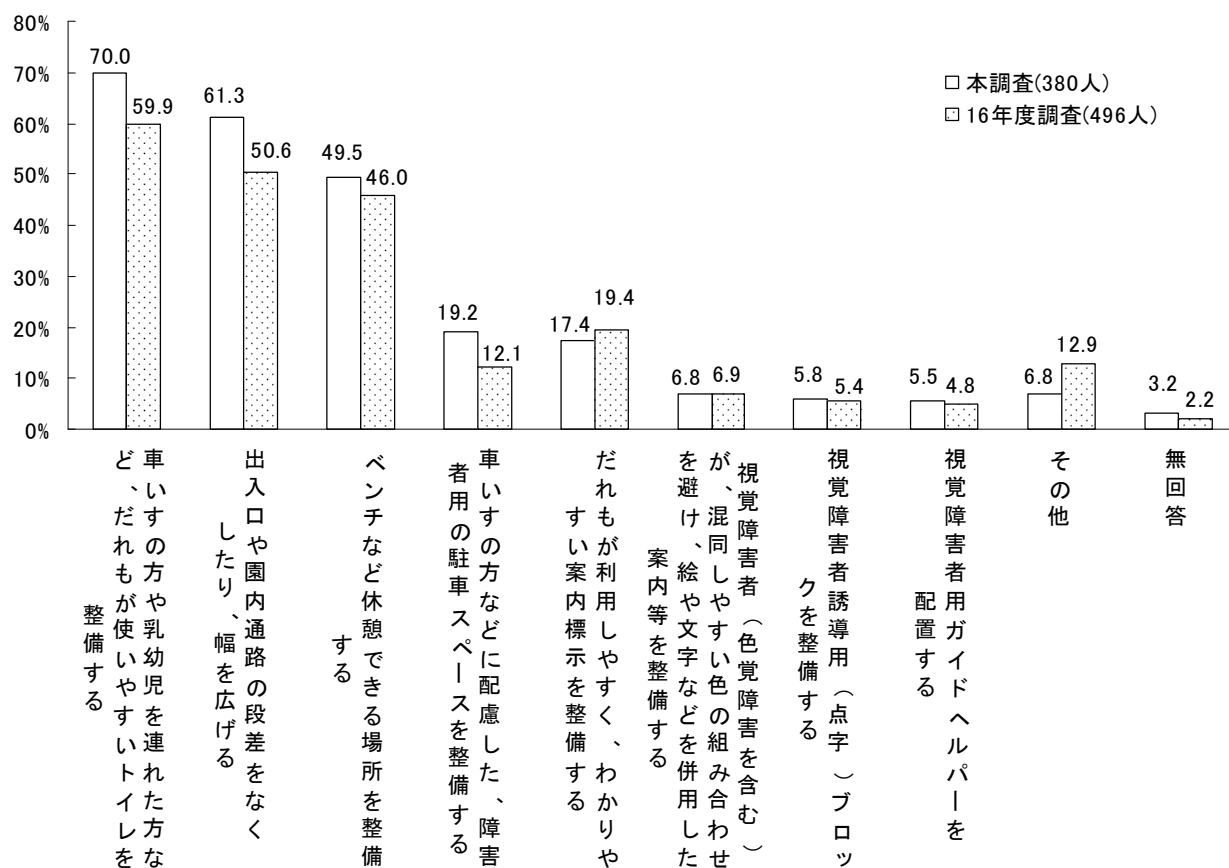
	総 数	乗降口の階段がなく、車いすなどでも乗り降りしやすい、ノンステップバスの整備	車内に、停車駅や停留所等を表示するための電光掲示板などを設置した、車両の整備	車いすやベビーカーなどの専用スペースの整備	地域の生活拠点等を結ぶ、小型で利用しやすいコミュニティバスの整備	車いすなどのまま乗り降りができる、リフト付きタクシーの整備	視覚障害者（色覚障害を含む）が、混同しやすい色の組合せを避け、絵や文字などを併用した案内等の整備	その他	無回答
総数	100.0 (851)	73.0	21.9	48.2	35.0	28.9	12.6	5.2	4.6
外出時に何らかの障害がある	100.0 (73)	<u>79.5</u>	24.7	37.0	30.1	34.2	12.3	1.4	5.5
視覚	100.0 (21)	<u>71.4</u>	28.6	23.8	23.8	28.6	4.8	4.8	4.8
聴覚	100.0 (24)	<u>75.0</u>	20.8	37.5	20.8	29.2	12.5	－	12.5
肢体	100.0 (55)	<u>78.2</u>	23.6	43.6	32.7	40.0	10.9	1.8	3.6
内部	100.0 (33)	<u>81.8</u>	21.2	39.4	36.4	39.4	15.2	3.0	－
その他	100.0 (42)	<u>83.3</u>	26.2	33.3	28.6	35.7	14.3	2.4	－
外出時に障害がない	100.0 (770)	72.1	21.8	49.0	35.3	28.2	12.6	5.6	4.5

(19) 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－16年度調査と比較

「だれもが使いやすいトイレの整備」が最も高く、約7割

公園でバリアを感じるところが「ある」と答えた人（380人）に、公園を利用しやすくするためにどのような整備が必要だと思うか聞いたところ、「車いすの方や乳幼児を連れた方など、だれもが使いやすいトイレを整備する」の割合が最も高く70.0%、次いで「出入口や園内通路の段差をなくしたり、幅を広げる」が61.3%、「ベンチなど休憩できる場所を整備する」が49.5%と続いている。（図Ⅱ-1-12）

図Ⅱ-1-12 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－16年度調査と比較



(20) 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－性・年齢階級別

男性は「出入口や通路の段差をなくす、幅を広げる」、女性は「だれもが使いやすいトイレの整備」の割合が最も高い

公園で整備が必要なことを性・年齢階級別にみると、男性は、「出入口や園内通路の段差をなくしたり、幅を広げる」の割合が 67.3%、女性は、「車いすの方や乳幼児を連れた方など、だれもが使いやすいトイレを整備する」75.9%と、それぞれ最も高くなっている。(表Ⅱ-1-16)

表Ⅱ-1-16 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－性・年齢階級別

	総 数	出 入 口 や 園 内 通 路 の 段 差 を な く し た り 、 幅 を 広 げ る	ベ ン チ な ど 休 憩 で き る 場 所 を 整 備 す る	車 い す の 方 や 乳 幼 児 を 連 れ た 方 な ど 、 だ れ も が 使 い や す い ト イ レ を 整 備 す る	だ れ も が 利 用 し や す く 、 わ か り や だ い じ な 案 内 標 示 を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 誘 導 用 (点 字) ブ ロ ッ ク を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 へ 色 覚 障 害 を 含 む 混 同 し や す い 色 の 組 み 合 わ せ を 避 け 、 絵 や 文 字 な ど を 併 合 用 した 案 内 等 を 整 備 す る	車 い す の 方 な ど に 配 慮 した 、 障 害 者 利 用 の 駐 車 ス ペ ー ス を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 用 ガ イ ド ヘ ル プ 、 誘 導 し た り す る 方 な ど を 案 内 し た り す る	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (380)	61.3	49.5	70.0	17.4	5.8	6.8	19.2	5.5	6.8	3.2
男	100.0 (156)	<u>67.3</u>	45.5	61.5	20.5	5.8	6.4	21.8	7.1	9.6	3.2
20～29歳	100.0 (2)	100.0	100.0	100.0	－	－	－	－	－	－	－
30～39歳	100.0 (23)	69.6	39.1	56.5	13.0	13.0	4.3	8.7	4.3	8.7	－
40～49歳	100.0 (34)	76.5	26.5	67.6	11.8	8.8	5.9	20.6	11.8	14.7	2.9
50～59歳	100.0 (23)	56.5	43.5	56.5	21.7	－	4.3	26.1	8.7	4.3	8.7
60～69歳	100.0 (32)	81.3	56.3	53.1	18.8	3.1	9.4	21.9	6.3	15.6	3.1
70～79歳	100.0 (33)	51.5	57.6	69.7	39.4	6.1	9.1	27.3	3.0	3.0	3.0
80歳以上	100.0 (8)	50.0	50.0	62.5	12.5	－	－	37.5	－	12.5	－
(再掲)65歳以上	100.0 (58)	60.3	56.9	63.8	27.6	3.4	8.6	24.1	3.4	8.6	3.4
女	100.0 (224)	57.1	52.2	<u>75.9</u>	15.2	5.8	7.1	17.4	4.5	4.9	3.1
20～29歳	100.0 (21)	61.9	52.4	71.4	9.5	4.8	9.5	14.3	－	14.3	4.8
30～39歳	100.0 (58)	58.6	43.1	86.2	6.9	1.7	8.6	8.6	1.7	8.6	1.7
40～49歳	100.0 (40)	62.5	50.0	72.5	20.0	5.0	5.0	12.5	5.0	2.5	12.5
50～59歳	100.0 (36)	55.6	50.0	77.8	5.6	16.7	5.6	25.0	8.3	5.6	－
60～69歳	100.0 (33)	54.5	63.6	69.7	9.1	6.1	12.1	24.2	6.1	－	－
70～79歳	100.0 (23)	52.2	56.5	73.9	39.1	4.3	4.3	30.4	8.7	－	－
80歳以上	100.0 (12)	50.0	75.0	58.3	50.0	－	－	16.7	－	－	－
(再掲)65歳以上	100.0 (46)	47.8	65.2	69.6	34.8	4.3	4.3	28.3	4.3	－	－

(21) 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－外出時グループ別

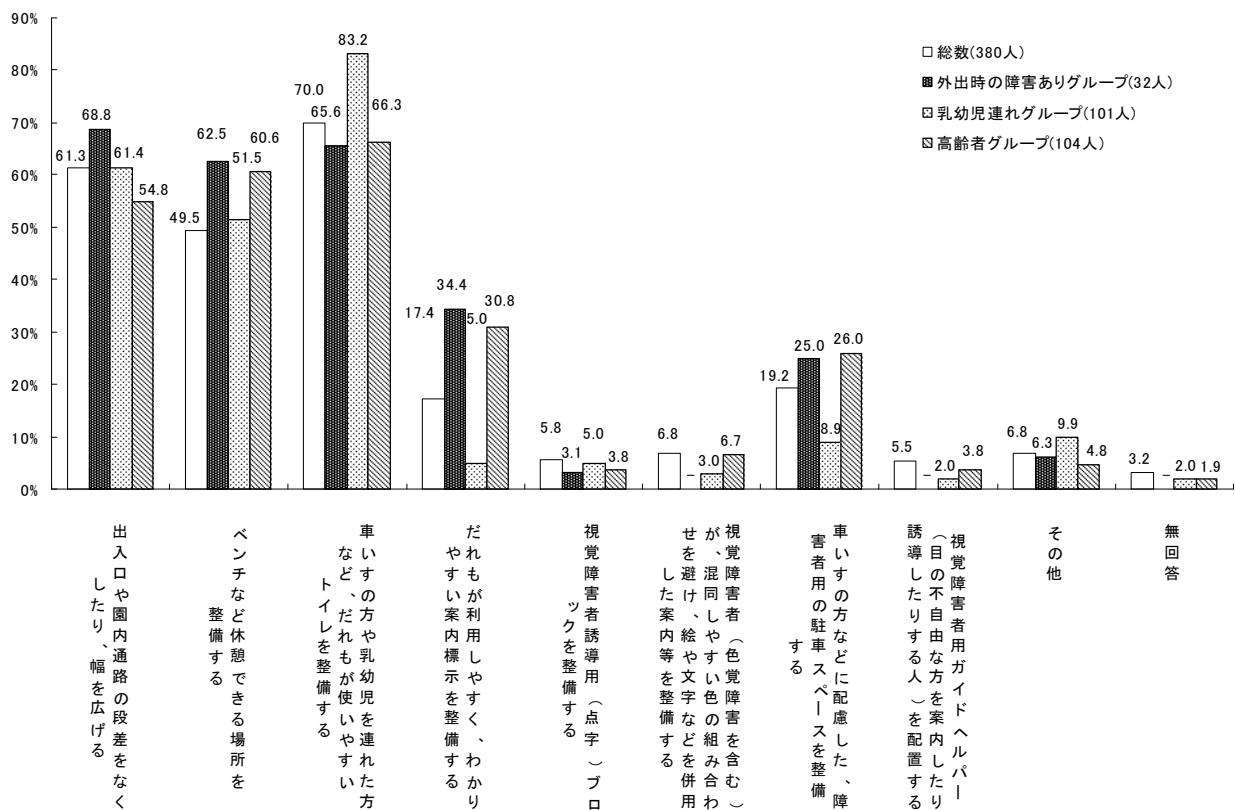
「乳幼児連れグループ」は、「だれもが使いやすいトイレの整備」の割合が、約 8 割

公園で整備が必要なことを外出時グループ別にみると、「外出時の障害ありグループ」は、「だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する」の割合が 34.4%と、総数に比べて 17.0 ポイント高くなっている。

また、「乳幼児連れグループ」は、「車いすの方や乳幼児を連れた方など、だれもが使いやすいトイレを整備する」が 83.2%と、総数に比べて 13.2 ポイント高くなっている。

「高齢者グループ」は、「ベンチなど休憩できる場所を整備する」が 60.6%と、総数に比べて 11.1 ポイント、「だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する」が 30.8%と、13.4 ポイント高くなっている。(図Ⅱ-1-13)

図Ⅱ-1-13 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕－外出時グループ別



(22) 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

「外出時に障害あり」は、「案内標示の整備」の割合が、障害がない人に比べて高い

公園で整備が必要なことを外出時の障害の有無別にみると、「外出時に何らかの障害がある」人は、「だれもが利用しやすく、わかりやすい案内標示を整備する」が34.4%と、「外出時に障害がない」人に比べて、18.6ポイント高くなっている。（表Ⅱ-1-17）

表Ⅱ-1-17 公園で整備が必要なこと〔複数回答〕

－外出時の障害の有無（視覚・聴覚・肢体・内部・その他）別

	総 数	出 入 口 や 園 内 通 路 の 段 差 を な く し 幅 を 広 げ る	ベ ン チ な ど 休 憩 で き る 場 所 を 整 備 す る	車 い す の 方 や 乳 幼 児 を 連 れた 方 な ど、 だ れ も が 使 い や す い ト イ レ を 整 備 す る	だ れ も が 利 用 し や す く 、 わ か り や す い 案 内 標 示 を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 誘 導 用 （ 点 字 ） ブ ロ ッ ク を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 （ 色 覚 障 害 を 含 む ） の 混 同 を 避 け、 し や す い 文 字 な ど を 併 用 し た 案 内 等 を 整 備 す る	車 い す の 方 な ど に 配 慮 し た ス ペ ー ス を 整 備 す る	視 覚 障 害 者 の 目 の 不 自 然 な 方 向 を 案 内 し た り 誘 導 し た り （ 目 の 不 自 然 な 方 向 を 案 内 し た り ）	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (380)	61.3	49.5	70.0	17.4	5.8	6.8	19.2	5.5	6.8	3.2
外出時に何らかの障害がある	100.0 (32)	68.8	62.5	65.6	34.4	3.1	－	25.0	－	6.3	－
視覚	100.0 (9)	55.6	44.4	55.6	33.3	－	－	44.4	－	11.1	－
聴覚	100.0 (12)	66.7	66.7	58.3	41.7	－	－	33.3	－	－	－
肢体	100.0 (28)	67.9	50.0	71.4	28.6	3.6	3.6	35.7	－	7.1	－
内部	100.0 (16)	62.5	56.3	56.3	37.5	－	－	37.5	－	12.5	－
その他	100.0 (15)	53.3	66.7	53.3	40.0	－	－	33.3	－	13.3	－
外出時に障害がない	100.0 (341)	60.4	48.7	70.1	15.8	6.2	7.3	17.9	6.2	7.0	3.5